

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2023年3月31日）

### ■第1版 第1刷（2021年1月1日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第1章-4 オープンクロマチン領域を特定するーATAC-seq					
77	㉔	95°C 30秒 95°C 10秒 63°C 30秒 72°C 1分 } × 5サイクル	95°C 30秒 95°C 10秒 63°C 30秒 72°C 1分 } × 5サイクル	5回繰り返して行う 反応の範囲に誤り	21/09/10
78	㉕	95°C 30秒 95°C 10秒 63°C 30秒 72°C 1分 } × 20サイクル	95°C 30秒 95°C 10秒 63°C 30秒 72°C 1分 } × 20サイクル	20回繰り返して行う 反応の範囲に誤り	21/09/10
78	㉖	95°C 30秒 95°C 10秒 63°C 30秒 72°C 1分 } × Nサイクル	95°C 30秒 95°C 10秒 63°C 30秒 72°C 1分 } × Nサイクル	N回繰り返して行う 反応の範囲に誤り	21/09/10
第2章-1 標的タンパク質、RNA およびゲノム DNA を同時に見るーImmuno-RNA-DNA-FISH					
186	左カラム15-16行目	減圧遠心機が使えるようでしたら、 DMSOを蒸発させ、乾燥状態で保存する と加水分解の心配はありません。	<del>また、DMSOの代わりにDMF</del> <del>(dimethylformamide)で蛍光エステルを</del> <del>溶かし減圧遠心機で乾燥保存させると</del> 加水分解の心配はありません。		23/03/31
186	左カラム19行目	□0.2M HEPES-HCl (pH8.5)	□0.2M HEPES- <del>KOH</del> (pH8.5)		23/03/31
186	左カラム20行目	□2 M Glycin-HCl (pH8.0)	□2 M Glycin- <del>NaOH</del> (pH8.0)		23/03/31